

令和5年度第2回 府中市入札等監視委員会（要旨）

[日 時] 令和5年10月27日（金） 午前10時～11時50分

[場 所] 府中市役所「おもや」3階 会議室A301

[出席者] 委 員

上條 弘次、金子 憲、北谷 繭子

事務局

石川総務管理部長、石堂契約課長、加藤契約課長補佐、鈴木工事契約係長

[会議経過]

1 議題

（1）前回の検討課題について

前回の委員会において検討課題として挙げられた「特定の業者における応札状況」について、事務局より説明を行った。

府中市情報公開条例第7条第3号に該当するため、本報告は非公開。

（2）令和5年4月1日～令和5年9月30日に契約締結した案件の審査について

事務局より、資料1及び2に基づき、令和5年度上半期における契約締結の状況について説明を行った。

（委 員）

資料2において「応募者なく中止」とあるのは、そもそも手を挙げる業者がいなかった、という理解で良いか。特にこの標記が多い印象を受けた。

（事務局）

お見込みのとおり、公募を行ったが、どの業者からも手が挙がらなかったため、入札を中止した。公告の予定価格を見た段階で、業者は諦めているということである。

なお、入札を中止した案件はいくつかあるが、どの案件も条件等を見直し、再度入札を行い、業者決定までに至っている。最初は予定価格に見合った業者ランクで行い、不調等により2回目以降となった場合は、ランクを広げるといった条件の緩和を行っている。

引き続き、各委員が事前に抽出した案件（資料4）について、1件ずつ審議を行った。委員から抽出した案件に関する質問を受け、それに事務局が回答した。

- ・ 小学校トイレ改修工事（南町小）
- ・ 中学校トイレ改修工事（九中）
- ・ 小学校トイレ改修工事（四谷小）
- ・ 府中市立押立体育館空気調和設備設置工事

※上記4件は関連性があるため、まとめて審議することとした。

（委員）

20番の案件については、特定の業者2者が同額となっている。また、6月14日に開札した2案件についても同額となっている。一般的に考えれば、1日に3案件続けて同額が入ることはありえないのではないか。

（事務局）

2業者における金額の入れ方については、予定価格の10万円未満を切り捨てて応札しているようである。過去5年分の応札状況を調べたところ、10万円未満を切り捨てる傾向は見て取れた。

（委員）

同じような内容の案件で、入札日が重なっているケースが多く感じた。どの業者においても、狙っていたものが落札できれば、もう一方はいらぬ、といった感覚が見て取れた。

落札決定日が1日でもずれているようであれば、結果を見てから入札する、といった違う流れになるのではないか。落札できなさそうであれば、予定価格と同額を入れておく、といった発想になりやすい。

改めて、府中市における入札日の設定方法について伺いたい。前回までの委員会の議論の中から、工期の関係でどうしてもこの時期に重なることは承知しているが。

（事務局）

トイレ改修工事に関しては、昨年度、10件近くすべて開札日が同日となっていたため、改善すべき点であろうという話になった。その議論を踏まえ、今年度においては、開札日を2回に分けて実施したところである。

開札日については、年間スケジュールを作成しており、起工課が想定する契約締結日から逆算して期間や日程を決めている。原則として開札日は毎週水曜日としている。曜日を設定することで、契約事務の煩雑を防ぐとともに、府中市の入札が水曜日、ということをや業者側へ意識づけるためでもある。

（委員）

応札金額における端数を切るかどうかは、業者判断ということで良かったか。
(事務局)

お見込みのとおりである。また、端数を切ることの効果としては、予定価格と同額で入れてきた業者と比較すれば、切り落とした分の価格点はとることができる。

(委員)

委員の方から今後の対応や要望について、何かあるか。

(委員)

今回も調査を行うとなれば、特定の業者は2回目の調査となり、今後の変化が見て取れるのではないか。今後の経過を見ていくことも含め、引き続き調査した方が良いのではないかと思う。

(委員)

この案件について聞くほか、積算の根拠についても調査した方が良いかもしれない。業者に再度聞くことは可能か。

(事務局)

業者によっては2回目となるため、少し聞き方を変える必要があるかと思う。それを踏まえて調査の仕方について検討したいと思う。

(委員)

内容を検討したうえで、業者に調査を行うこととしたい。詳細を詰めていただき、改めて内容について確認させていただきたい。

・府中市立府中第三小学校校舎等改築工事

・府中市立府中第三小学校校舎等改築に伴う敷地内通路改修工事

・府中市立府中第九中学校体育館外壁及び屋上防水等改修工事

※上記3件は関連性があるため、まとめて審議することとした。

(委員)

39番と49番の案件における特定の業者の技術点が低く、かつ予定価格とほぼ同額を入れていたため気になった。

また、38番の三小に関する案件では、特定の2者がJVを組み、落札しているにも関わらず、ある業者は39番で辞退している点も気になり、抽出した。

(委員)

三小の関連工事であるにも関わらず、39番で辞退してしまうのはどういう関係なのかなと思う。

時系列としては39番が先で、その後に38番のようである。JVを組んでいる両者が、関連工事で競合するということはあるのか。

(事務局)

当然、入札においては、誰が手を挙げているか分からないため、JV を組んでいる業者同士も分からないはずである。なお、手を挙げているかどうかを業者間において情報共有することは法に反することである。そのため、競合するといったことは考えられる。

(委員)

情報交換などをしていないからこそ、関連工事であったとしても、辞退といった判断は一定程度あるということを理解した。

・府中市民球場1階トイレ等改修工事

・片町防災センター外壁及び屋上防水等改修工事

※上記2件は関連性があるため、まとめて審議することとした。

(委員)

44番の案件において、特定の業者がかなり高い金額で応札している点になった。また、別の業者においては、かなり安い金額で応札しているのに対し、54番では、予定価格と同額となっており、金額差が激しい。規模が大きい小さいという点があるのかもしれないが。

(委員)

この点について、事務局として何か情報を持っているか。

(事務局)

44番においては、調査基準価格と同額であったため、対応手順に基づき、ヒアリングを行っている。業者からは、大手企業と競うことになると考え、技術点ではかなわないことから、価格点で勝負したとのことであった。また、落札したい案件であったため、調査基準価格を予想し、その額で応札したとのことである。

54番については、申出資格の総合評定値が700点以上800点未満ということから、技術点において勝負することができると判断し、価格点はあまり考慮しなかったとのことである。

(委員)

54番は、落札業者以外すべて辞退となっているが、どのような理由だったのか。

(事務局)

配置予定技術者の配置が困難、といった理由であった。

(委員)

調査にもしっかり回答しているようである。一連のやりとりを聞いて、委員から追加の質問はあるか。

(委員)

明確に答えており、本件については了解した。

・ 小学校トイレ改修工事（十小）

・ 防災センター外壁及び屋上防水等改修工事（宮町・緑町）

（委員）

今回の抽出に当たっては、建築工事に絞り、独自で表を作成し、分析したところではあるが、特に辞退する業者が多い印象を受けた。48番、50番共に1者応札かつ落札率100%となっていることがやはり気になった。

（委員）

辞退理由も含め、何か把握していることがあれば教えてほしい。

（事務局）

辞退理由について、48番では、予定していた技術者に空きが無くなった、50番では、金額が合わない、予定した代理人の配置ができない、との回答があった。

（委員）

2件とも落札率が100%となっているのは少し気になる。

（事務局）

この2案件については、事務局としても気になったため、聞き取りを行った。他者がすべて辞退したこと、並びに、予定価格と同額で応札したことについて、今後の参考という位置付けで聞き取りを行った。

回答としては、他者が辞退していることについては、事前に把握できないため何とも言えないが、48番については、タイトな工期であることが他の業者もネックとなっているのではと推測する。同額で応札したことについては、積算時は両案件ともに予定価格を上回っていたが、一般管理費を下げるなどの企業努力で、予定価格と同額まで下げることができた。価格点が0点となることは承知の上で、予定価格と同額であっても落札できれば採算がとれるギリギリのラインと考えた。市に協力したい気持ちもあり、辞退はしなかった、とのことである。

（委員）

最終的には、価格との兼ね合いなのかなとも思う。委員から、何か意見はあるか。

（委員）

この案件もしっかりとした回答が得られており、理解できる部分はある。

（事務局）

本市においては、予定価格を公表していることから、見えている金額が中心となってしまうことはあり得るのではないかと考えている。また、この点については、今後の課題とも捉えている。

（委員）

事前公表の有無によって、かなり流れは変わってくると思う。公表すれば、こ

の金額を目指して入札してくることは想定できるし、その点は理解する。また、金額が分かっているからこそ、調整しやすい面も考えられる。その点を補うのが総合評価方式だと思う。

ただ、それをどのように解消するかは、なかなか難しいと感じる部分である。新たな契約制度を導入してから3年目を迎えようとしており、今後はこの事前公表を続けるかどうか、といった議論になってくるかと思う。もし制度として分かりにくい点などがあれば、この委員会の意見として出してよいかと思う。

(委員)

繰り返しになるが、全体的に辞退が多いと思う。人員配置ができない、という理由を毎回聞いている。予定価格が上がれば、人員の確保にもつながると思う。

(委員)

入札価格の変動、といった側面からの対応はできるものなのか。

(事務局)

工事の場合、国や都の積算単価を用いることとなっている。その単価は随時、見直しがなされており、右肩上がりの状況である。積算については、客観的な視点から公共単価を用いているもので、任意に金額を上げるとなると、適正な予定価格の設定という概念からは外れてしまう。しかしながら、国の方でも不調が続くようであれば、見積金額による採用も少なからず認めているところである。

(委員)

確かに、物価はかなり上昇しており、国が基準などを変えない限り、個々の対応も難しいと思う。それが辞退につながっているのかもしれない。

様々議論があったが、他に意見はあるか。ないようなので、この件については確認したものとする。

・府中市立小柳小学校校舎外壁及び屋上防水等改修工事

(委員)

予定価格と同額による入札で、かつ金額も比較的高い案件だったため抽出した。辞退している業者も多いが、辞退理由について何か聞いているか。

(事務局)

配置予定技術者が他の案件で従事することになった、予定価格内での工事施工が難しい、といった理由があった。

(委員)

予定価格と同額で応札しているが、別途聞き取りなどを行っているのか。

(事務局)

この案件に関しては、特に行っていない。

(委員)

金額もかなり高いため、こういった案件は今後も注視していきたい。辞退理由の内容も含め、本案件については了解した。

・保健センター非常用自家発電設備設置工事

(委員)

10者中7者が辞退しており、非常に多く感じたこと、また、今回は、電気工事の案件が少なかったため、そのカテゴリーからも選定したいと思い、抽出したところである。こちらの案件も辞退理由を把握しているのか。

(事務局)

人員配置ができなかった、機器入手が困難なため、といった理由があった。

(委員)

抽象的な質問で申し訳ないが、電気工事特有の入札傾向などはあるものなのか。

(事務局)

電気工事の案件は、比較的手が挙がりやすい傾向にあるかと思う。一般土木工事は厳しいという印象を持っている。

(委員)

そういったことから、本案件の競争はある程度働いているともいえる。

先程も議論になったが、やはり半数近くは辞退理由の記載がないようである。現在、表現を変えているとのことであり、業者側の動向・変化を注視していきたいと思う。

案件については了解した。

本日議題とした抽出案件については全て終了したが、全体を通して確認したいことはあるか。

(事務局)

抽出案件1に関しては、別途業者に調査をかけるというまとめになったが、できれば聞き取りたい内容について決めていただければと思う。

(委員)

委員から、具体的に聞きたい項目などがあれば教えていただきたい。

(委員)

3者の関係性のことであるため、まずは該当する業者に聞いてほしい。

(委員)

小・中学校トイレ、空調工事と分けて聞くか。まとめて3者に聞いてみるか。聞き方も、金額の詳細まで踏み込むかどうか。

(委員)

ある業者は全件入っているので、関係性を探る上でも、全件確認したいところではある。別の業者は会社として大きいと思われるので、そこを主軸に聞いてみたい。3者の規模感も大、中、小となっている関係だと思うので。

(事務局)

対象については、全者または特定業者など、どちらでも構わない。聞くポイントについて決めていただければと思う。

今回は、予定価格に近い理由、業者の関係性について聞いたが、聞く視点は同じで良いか。

(委員)

少なくともその2点は聞いてほしい。もう少し、具体性をもった聞き方にした方が良いかもしれない。

聞き取り調査も前回は初めてだったこともあり、試行錯誤の部分はあるが、事務局で少し案を出していただき、後日、各委員に見せてもらえればと思う。

(事務局)

立ち位置としては、事業者に協力してもらおう視点で行っているため、可能な範囲での回答になるかと思う。

(委員)

立ち位置については、事務局と同じ考えで理解させてもらっている。聞く以上、もう少し、情報が出てくれば良いと思う。事務局には負担をかけるが、対応をお願いしたい。

その他に何かあるか。

(委員)

抽出案件4で、特定の業者にヒアリングを行ったとのことだが、他の案件でも行っているものなのか。今回の聞き取り調査との違いや基準などがあれば教えてほしい。

(事務局)

調査基準価格と同額であれば、対応手順に基づき、聞き取りを実施している。抽出案件4に関しては、他が辞退している中で1者だけ落札率100%となる案件はよくあることだが、同じ日に全く同じ応札状況の案件があったため、聞き取りを行った。

特に基準による対応ではなく、あまり起こりえないケースであったため実施したところである。

(委員)

感覚的に行ったということであれば、イレギュラーな案件が出てきた際は、なるべく聞き取りを行った方がよいと思う。

(委員)

私たちよりも直に接している事務局の方が、感覚が分かると思うので、気になることがあればぜひやっていただき、事後で構わないので、本委員会で報告していただければと思う。

(委員)

例えば、49番についても実施した方がよいのでは、と感じてしまう。

(事務局)

その案件については、予定価格と同額又は近い額で応札した案件として数多く見られることもあり、実施しなかった。抽出案件4の場合は、その他の要素が加わったため、実施したところである。

(委員)

確かに予定価格と同額を応札した案件は、一定数出てくるかと思う。この委員会において、なるべく抽出するなどとして、監視していければと思う。

(委員)

抽出案件4の時は、どのような方法で聞き取りを行ったのか。

(事務局)

議題として取り上げた調査については、入札等監視委員会として、公文書による通知を行い、聞いたものである。通常の案件は、電話にて聞き取りを行ったものである。

2 その他

- ・次回の日程等について

(委員)

その他、事務局から連絡事項はあるか。

(事務局)

次回は、令和6年3月25日午後1時30分の開催を予定している。